

番号	令和5年度 公共事業再評価調査					担当課名	道路計画課						
事業名	一般国道150号 久能拡幅			事業主体	静岡市								
箇所名	静岡市駿河区根古屋 ～ 静岡市駿河区大谷												
事業採択年度	平成20年度	計画期間	平成20年度 ～ 令和12年度										
用地着手年度	平成20年度	工事着手年度	平成22年度										
再評価理由※	工期延長と全体事業費の増額												
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R2年度	R3年度	R4年度	計							
	7,417		2,903	555	413	3,871							
事業概要	<p>(1)事業目的 一般国道150号は、静岡県静岡市を起点とし同県浜松市に至る延長131kmの駿河湾沿いの幹線道路である。このうち久能拡幅は、静岡市駿河区根古屋を起点とし駿河区大谷に至る延長4.2kmの現道2車線区間を、渋滞解消、物流ネットワークの強化を目的に4車線化整備するものである。</p> <p>(2)事業内容 現道拡幅（2車線→4車線） 種級区分：3種1級（60km/h） 事業延長：4,200m 道路幅員：22.0m</p>												
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化</p> <p>①渋滞解消 ・国道150号は大型車交通の利用が多く、2車線区間を中心に交通混雑が発生している。 ・4車線化整備により交通容量が拡大し、交通混雑の緩和が期待される。</p> <p>②物流ネットワークの強化 ・国道150号は、国際拠点港湾・清水港～日本平久能山SICを結び、物流ネットワークとして重要な路線。 ・整備により、清水港から日本平久能山SICや、恩田原・片山地区の工業・物流エリアまでの所要時間が</p> <p>③観光資源へのアクセスの向上 ・沿線には、久能山東照宮、石垣いちご狩り、三保の松原など、観光資源が点在している。 ・整備により、清水港から日本平久能山SICへの所要時間が約4分短縮し、アクセス性の向上が期待される。</p> <p>④救急医療期間へのアクセスの向上 ・整備により、三保地区周辺から静岡市中心部に立地する第三次救急医療機関への搬送時間の短縮が期待される。</p> <p>(2)事業の投資効果（費用対効果分析結果に基づくもの及びその他アピールすべき効果） 分析結果 費用対効果 B/C：1.6 （総便益B：121億円 総事業費C：78億円）</p> <p>沿線には、久能山東照宮、石垣いちご狩り、日本平など観光資源が点在しており、観光客の周遊ルートとしても市民の期待度は高い。</p> <p>(3)事業の進捗状況（R4年度末）</p> <table border="1"> <tr> <td>進捗率</td> <td>令和4年度末</td> </tr> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>3,871/7,417=52.2%</td> </tr> <tr> <td>事業量（m）</td> <td>1,610/4,200=38.3%</td> </tr> </table> <p>評価 <u>継続が妥当</u> ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>							進捗率	令和4年度末	事業費（百万円）	3,871/7,417=52.2%	事業量（m）	1,610/4,200=38.3%
進捗率	令和4年度末												
事業費（百万円）	3,871/7,417=52.2%												
事業量（m）	1,610/4,200=38.3%												
【視点2】 今後の事業の 進捗の見込み	<p>用地の取得を継続しており、取得箇所から道路改良工事を推進し、完了を目指す。</p> <p>評価 <u>継続が妥当</u> ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>												
【視点3】 新たな コスト削減・ 代替案立案等 の可能性	<p>建設発生土を他事業等に流用することで、残土処分費用にかかるコストの削減を図る。</p>												
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を（<u>継続</u>）・中止）する。</p> <p>(2)理由 国道150号久能地区の拡幅整備は、費用対効果も確保されており、静岡IC・日本平久能山SICと清水港を結ぶ物流ネットワークとして市民の期待も高いため、事業の継続が妥当と考える。</p>												